

科目名		設計製図A			
担当教員		三留 正		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	・建築物設計における空間表現、考え方、計画の進め方を演習や課題を通して学ぶ。 1. 建築計画にもとづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。 4. 木造住宅の各種図面の作図方法と木質軸組み工法の仕組を課題を通して習得する。				
学習目標 (到達目標)	・建築空間を表現、伝達する基礎的手法としての製図の知識・技術の習得 ・木造住宅の各種図面の作図方法と木質軸組み工法の仕組みを習得 ・建築物を立体的に表現する透視図法を習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	住宅計画演習（前期）でのエスキスプラン、テキスト（初学者の建築講座）				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	木造住宅の製図（トレース／前期課題の継続） ①平面図、断面図、立面図の作図方法		方法：教科書、プリント等を使い説明と作図の演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントの練習課題の予習と練習		
2	木造住宅の製図（住宅計画演習でのエスキスプラン） ①オリジナルプランの作図 ・平面、断面、立面図のエスキス及び作図		方法：教科書、プリント等を使い説明と作図の演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントの練習課題の予習と練習		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題評価	取組姿勢			前期の授業で学んだ技術を生かして、オリジナルプランの作図を学習する。建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への応用力を強化する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させ、習熟度を上げるために、精度の低い課題については、十分な解説と指導を行う。	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	設計業務、施工管理業務に22年実務に携わる				